

# 山城北保健所管内の感染症発生動向調査

(ARI 定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

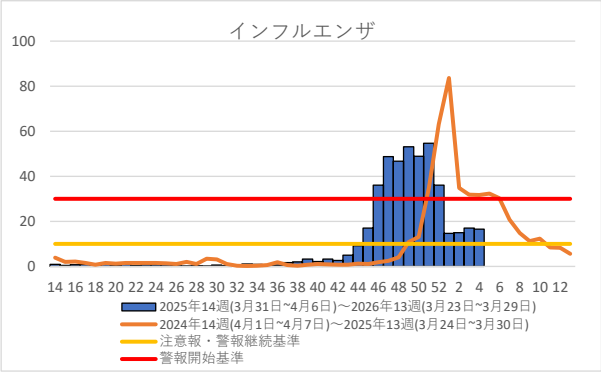
2026年 第4週 (1月19日～1月25日)

## 今週のコメント

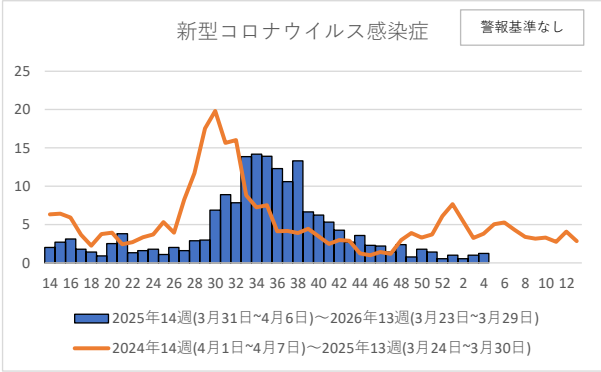
- 「インフルエンザ」の定点当たりの報告数は16.56 (3週17.00、2週15.00) と横ばいですが、依然警報継続レベルを超えています。
- 「新型コロナウイルス感染症」の定点当たりの報告数は1.22 (3週1.00、2週0.56) とわずかに増加しています。
- 「咽頭結膜熱」「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」の定点当たりの報告数が増加し、5.00を超えています。(咽頭結膜熱は警報発出基準を超えています。) 飛沫感染、接触感染に気を付けましょう。
- 空気が乾燥し、寒さで免疫力が落ちています。体調を整え、手洗い、手指消毒、咳エチケット、こまめな換気等の感染症予防を行いましょう。

## <2025年度と2024年度の比較>

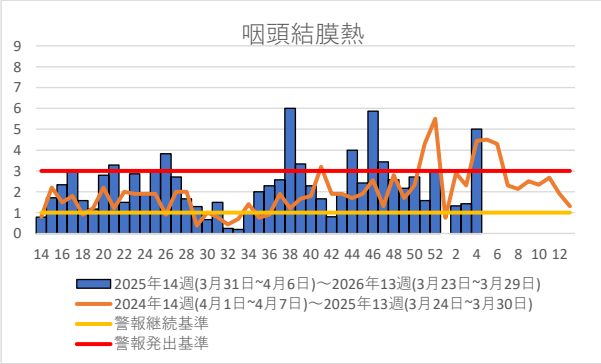
インフルエンザ (定点把握疾患) 山城北保健所管内週当たり報告数



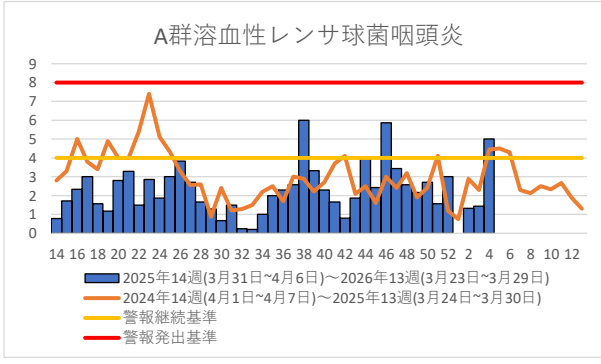
新型コロナウイルス感染症 (定点把握疾患) 山城北保健所管内週当たり報告数



咽頭結膜熱 (定点把握疾患) 山城北保健所管内週当たり報告数



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (定点把握疾患) 山城北保健所管内週当たり報告数



## 定点把握疾患

<特定の医療機関(定点医療機関)を定め、その医療機関を受診した患者の数を基に、流行状況を把握>

疾患名	定点あたりの報告数 (前週比)	疾患名	定点あたりの報告数 (前週比)
インフルエンザ	16.56 (0.97)	手足口病	— (0.00)
新型コロナウイルス感染症	1.22 (1.22)	伝染性紅斑	0.17 (1.21)
RSウイルス感染症	0.67 (1.18)	突発性発しん	— (0.00)
咽頭結膜熱	5.00 (3.50)	ヘルパンギーナ	— (0.00)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.33 (2.19)	流行性耳下腺炎	— (0.00)
感染性胃腸炎	5.17 (1.51)	急性出血性結膜炎	— (0.00)
水痘	0.83 (2.86)	流行性角結膜炎	— (0.00)

定点あたりの報告数 = 1 週間の報告件数 / 定点数

警 報 : 1 週間の定点あたり報告数が、ある基準値 (警報の開始基準値) 以上の場合に発生します。

前の週に警報が発生していた場合、1 週間の定点あたり報告数が別の基準値 (警報の継続基準値) 以上の場合に発生します。

注意報 : 警報が発生していないときに、1 週間の定点あたり報告数が、ある基準値 (注意報の基準値) 以上の場合に発生します。

## 全数把握疾患

<全ての医療機関から医師の届出が義務付けられている感染症>

分類	報告
1 類感染症	報告なし
2 類感染症	結核(2件)
3 類感染症	報告なし
4 類感染症	報告なし
5 類感染症	報告なし

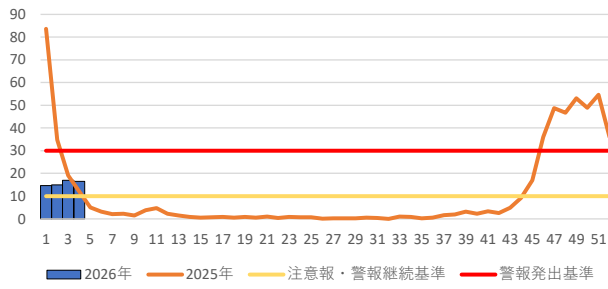
※このデータは速報値であり、今後変更等が行われる可能性があります。ご了承ください。

参考 : 京都府感染症情報センター

<https://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

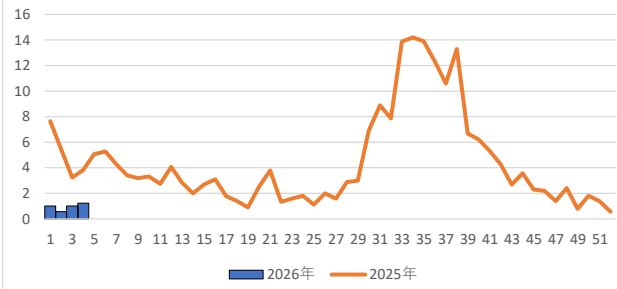
# 山城北保健所管内定点当たり報告数推移

インフルエンザ



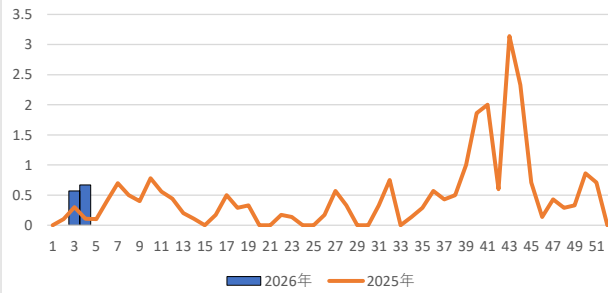
新型コロナウイルス感染症

警報基準なし

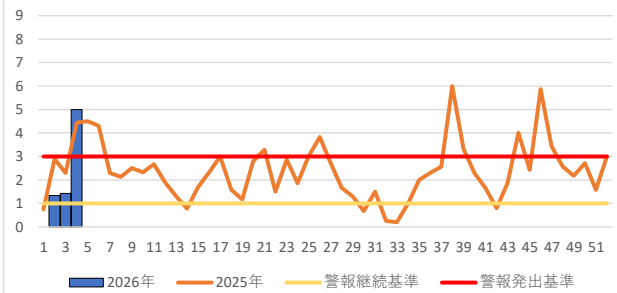


RSウイルス感染症

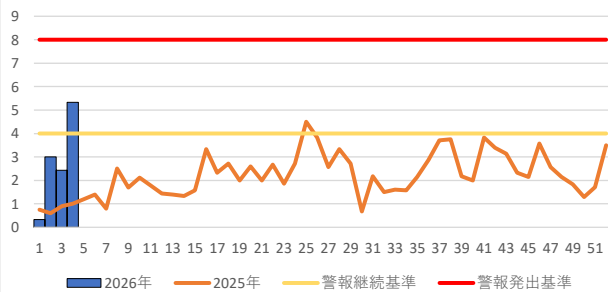
警報基準なし



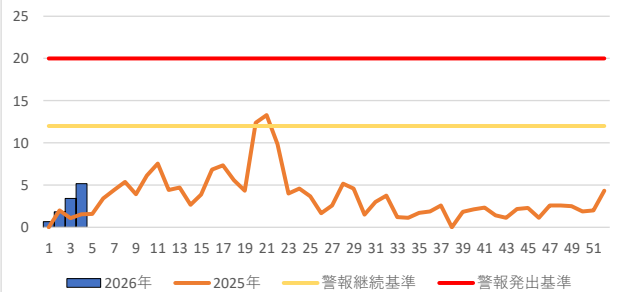
咽頭結膜熱



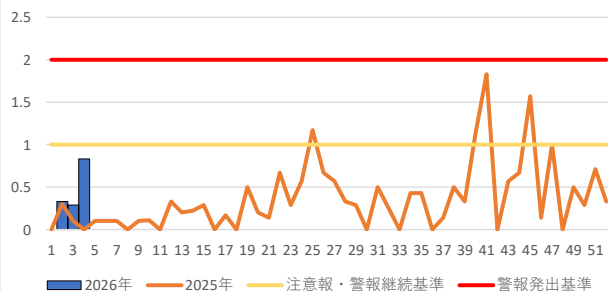
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



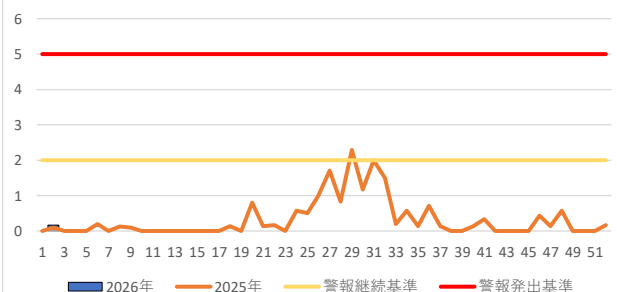
感染性胃腸炎



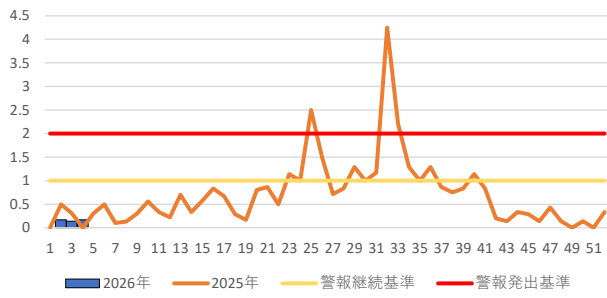
水痘



手足口病

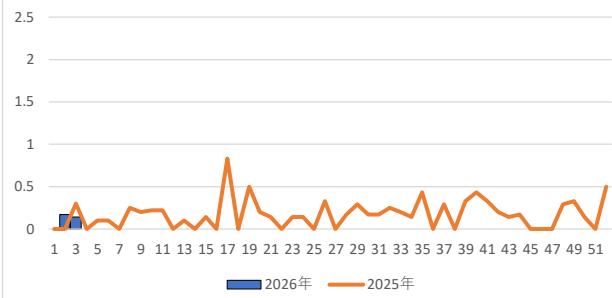


伝染性紅斑

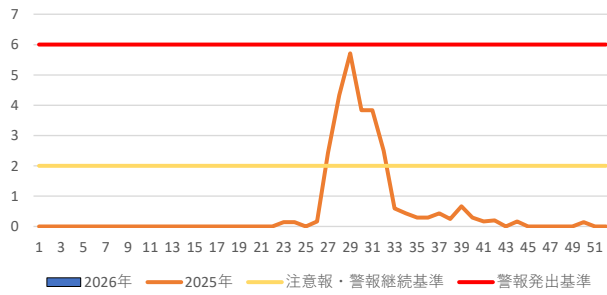


突発性発しん

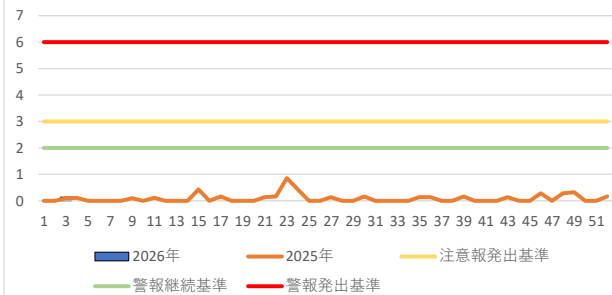
警報基準なし



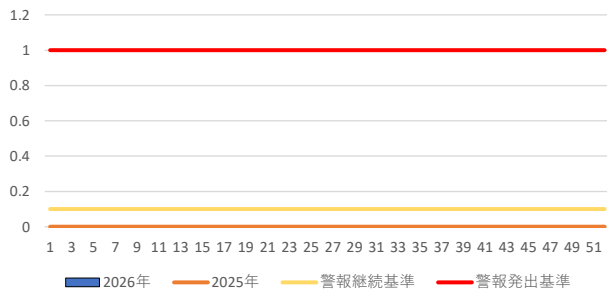
ヘルパンギーナ



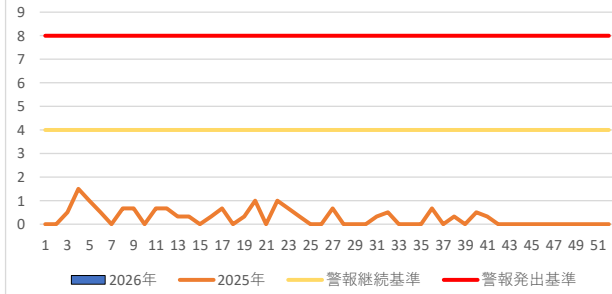
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



急性呼吸器感染症（ARI）とは

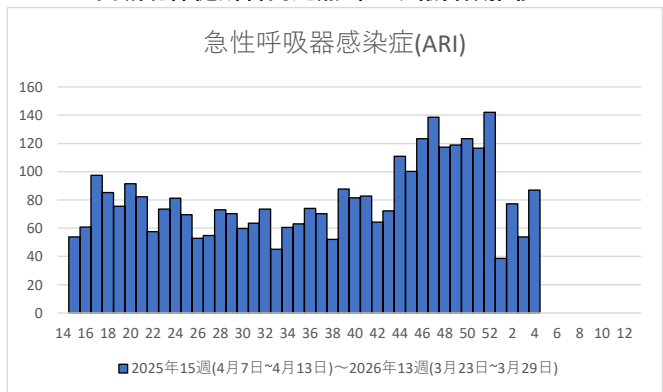
急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

令和7年4月7日からARIが感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となりました。以下の症例定義（※）を満たす場合に報告対象となることから、インフルエンザやCOVID-19等と診断された場合でも、ARIの症例定義の症状があれば両方の報告対象となります。

※ 咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁(びじゅう)、鼻閉(びへい)のいずれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

	定点あたりの報告数（前週比）
急性呼吸器感染症（ARI）	87.00（1.62）

山城北保健所管内定点当たり報告数推移



※ 急性呼吸器感染症：2025年4月7日から集計を開始

参考：京都府感染症情報センター 京都府におけるARI発生状況

<https://www.pref.kyoto.jp/idsc/old/ari.html>